

【今月の目次】

- 1.生成 AI に関する所内研修会について
- 2.ICT 活用ワンポイント講座「ファイル整理～不要なファイルを探して適切に削除しよう！」
- 3.コラム「古い Wi-Fi ルーター、使い続けていませんか？」



1.生成 AI に関する所内研修会について

総合教育センター情報教育チームでは、校務 DX の推進に向けて日々研究を重ねています。今年度はその中でも「生成 AI」に焦点を当て、ICT 教育支援センターの指導主事による学校訪問や、この通信を通じて、先生方の情報活用能力の向上に取り組んでいます。

その一環として、10 月 21 日に総合教育センターの指導主事を対象とした所内研修会を開催しました。今回の研修テーマは「学校の中で生成 AI を使ってみよう！」です。指導主事としてではなく、学校現場の教員として生成 AI を活用することを想定し、実践的な内容で実施しました。研修の主な目的は、生成 AI のメリット・デメリットを理解し、学校訪問時の支援に役立てることです。本センターの指導主事も日々スキルのブラッシュアップに努めています。今回は、その研修の様子を少しご紹介いたします。

当日は、テキストの要約作成、情報検索、学級通信の文章校正やイラスト作成など、すぐに現場で活用できる内容を中心に研修を行いました。学級通信の校正では、いきなり生成 AI に文章を作成させるのではなく、これまで先生方が作成された学級通信を活用し、「10 月なので秋らしい内容に書き換えてください」や「選択した文章から画像を作成してください」といった指示を与えることで、生成 AI に補助的な役割を担わせました。既存の資料を活用することは生成 AI ととても相性が良く、ゼロから生成 AI に依頼するとなかなかイメージ通りの結果が得られず、かえって時間がかかってしまう、などということもしばしば。ですが、既存の資料をベースにすることで時間短縮につながり、生成 AI の利点を感じていただけたと思います。生成 AI が進化しても、これまで先生方が積み重ねてきた努力が無駄になるということは決してありません。

総合教育センターでは、上記のような内容で研修を実施することが可能です。校務 DX を進めたいがなかなかうまくいかない学校や、生成 AI を使ってみたいけれど何から始めればよいかわからない先生方は、ぜひ総合教育センターICT 教育支援センターまでご相談ください。一緒に校務 DX の推進について考えていきましょう。（・・・ちなみに、この文章の校正も生成 AI です。）



2.ICT 活用ワンポイント講座「ファイル整理～不要なファイルを探して適切に削除しよう！」

あなたの業務用 PC や、共有サーバー(クラウド)内の容量は一杯になってきていませんか？今扱っているデータをとりあえず一度保存して、年度末に整理するつもりがそのままため込んでし

まう・・・などということがありますよね。年度末はあっという間に時間が経ってしまいます。自分の仕事の合間に、フォルダ整理を心がけてください。ここでは、データのファイル整理のポイントをお伝えします。

I. サイズの大きいファイルを見つけ、保存を検討する

サイズの大きいファイルは、検索機能で探せます。例えば、何かのフォルダを開き、「検索」に「サイズ：>100MB」と入力してください。すると、フォルダ内の 100MB 以上のデータファイルを見つけることができます。あとは、見つかったファイルを確認し、削除や外部ドライブへの移動を検討しましょう。

II. 画像・動画データの保存の仕方の検討

必要なファイルを整理していくことも大事ですが、どんなにデータを整理しても、結局データ量の大きい画像・動画データをどう保存していくか、これを検討することが一番重要です。また、画像・動画データは機微情報を扱うものが多いので、保存場所も含めて、各学校で決まっているとは思いますが、データ量が膨大になると、保存場所すら容量が一杯になる恐れがあります。保存場所が一杯になりそうな場合は、校内で保存場所の再検討をしてみてください。

いかがでしょうか？不要なファイルを放置すると、内蔵ストレージの空き容量が不足し、PC が不調になりやすいです。空きが不足する前に、○年前のデータは削除・移行する等、不要なデータ整理をお願いします！



3.コラム「古い Wi-Fi ルーター、使い続けていませんか？」

自宅の Wi-Fi ルーター、何年使っていますか？

古いルーターは、セキュリティの脆弱性があってもメーカーのサポートが終了していることがあります。また、サポート中でもファームウェア（ルーターの基本ソフト）の更新や暗号方式の確認をしていないと、不正アクセスやウイルス感染の“入り口”になる危険があります。

多くの機種では、ブラウザからルーターの設定画面にアクセスすることで、ファームウェアの更新が可能です。メーカーの公式サイトに手順が掲載されているので、型番で検索してみるとよいでしょう。

ルーターは故障していなくても、発売から 5 年以上経過している場合は、サポート状況を確認し、買い替えを検討してもよいでしょう。パソコンが最新の通信方式（Wi-Fi 6（11ax）以上）に対応していても、ルーターが古ければその性能を活かせません。

現在の無線暗号化方式の主流は「WPA3」で、2018 年に登場しました。Wi-Fi 6 以降のルーターでは標準搭載されており、セキュリティ面でもより安心です。

部屋の片隅で静かに動いている Wi-Fi ルーターですが、通信の安定性や安全性において重要な役割を果たしています。パソコンの買い替え時にルーターも見直すと、通信環境がぐっと快適になることもあります。これを機会に、ぜひチェックしてみてください。



おまけ いまさら聞けない用語解説

今月の用語「エコーチェンバー現象」

エコーチェンバー現象とは、SNS やインターネット上で自分と同じ意見や価値観を持つ人々だけで情報をやり取りし、異なる意見が排除されることで、同じ考えが繰り返し反響し強化される現象です。名前は「音が反響する部屋 (Echo Chamber)」に由来し、閉じた空間で同じ考えが返ってくるイメージから付けられています。

ICT 教育支援センターでは、各校で取り組んでいることや取り組もうとしていることへの支援に加えて、ICT 機器やソフトウェア、ネットワーク等に関する相談支援や学校訪問など随時対応しております。校内研修や研究会において、ICT 教育支援センターを活用していただきたいと思います。お気軽にご相談ください。

山梨県総合教育センター ICT 教育支援センター

〒406-0801 山梨県笛吹市御坂町成田 1456

TEL:055-262-5508 (直) /FAX:055-262-5572

お問い合わせは [こちらへ](https://forms.office.com/r/wyuB8BRNg2) <https://forms.office.com/r/wyuB8BRNg2>

バックナンバーは [こちら](https://www.ypec.ed.jp/?page_id=6492) https://www.ypec.ed.jp/?page_id=6492